

令和元年度 広島県病害虫発生予察情報

予報第10号（果樹）



令和2年3月12日 発表 広島県西部農業技術指導所
対象期間 令和2年3月12日～5月中旬

もくじ

- 1-1) 病害虫の現況と予報（概要）・・・P1
- 1-2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細）・・・P2～3
- 2 果樹全般 －カメムシの発生が過去10年で最多－・・・P4
- 3 気象状況・・・P5
- 4 お知らせ・・・P5

かんきつは南部の以下の地域が対象です。
※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部
東部：三原市以东の沿岸島しょ部

1-1)		病害虫の現況と予報（概要）	
病害虫名	現況	予報	防除上の注意事項（防除時期）
かいよう病	並	並	<ul style="list-style-type: none"> ◇ レモン, ネーブル, はるみ等発生しやすい品種では, 新梢発芽前(3月)・新葉展葉期(5月)に, 銅剤による防除を行う。発生園では, 4月にも銅剤による防除を行う。 ◇ <u>生育が前倒して経過しているため, 防除時期を逃さないよう注意する。</u> ◇ 樹上の病斑は伝染源となるので剪除する。 ◇ 強風雨により発生が助長されるので防風ネットや防風樹を整備する。
ミカンハダニ	多	多	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 冬季にマシン油乳剤の散布(冬マシン)を行っていないほ場では, 高度精製マシン油乳剤の散布(春マシン)を行う。 ※ 樹勢が低下している場合, 落葉が助長されることがあるので注意する
そうか病	並 ※一部ほ場で発生	並	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 基幹防除を徹底する。

病害虫名	現況	防除上の注意事項（防除時期）
ヤノネカイガラムシ	並 ※一部ほ場で発生	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 移動性が低く, ほ場の一部に集中して発生することが多いため, 寄生部位を中心に周辺の状況を確認し, 見つけ次第捕殺する。 ◇ ヤノネカイガラムシの発生がみられ, 冬季にマシン油乳剤の散布(冬マシン)を行っていないほ場では, 高度精製マシン油乳剤の散布(春マシン)を行う。希釈は登録範囲内の濃い濃度で行う。
果樹カメムシ類	多	◇ 詳細については4ページを参照。

1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細） 3月1日～9日調査

かいよう病



現況（平年比）

並

予報（平年比）

並

予報の根拠 (＋)：多発要因，(±)：平年並，(－)：少発要因

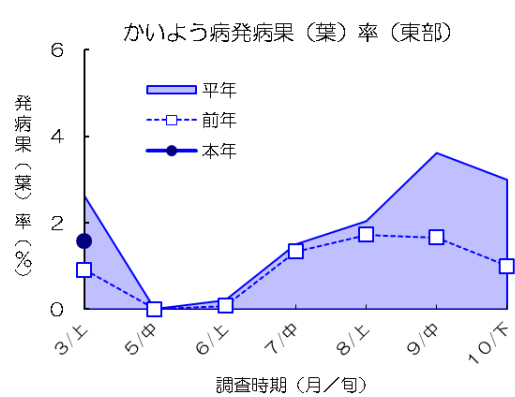
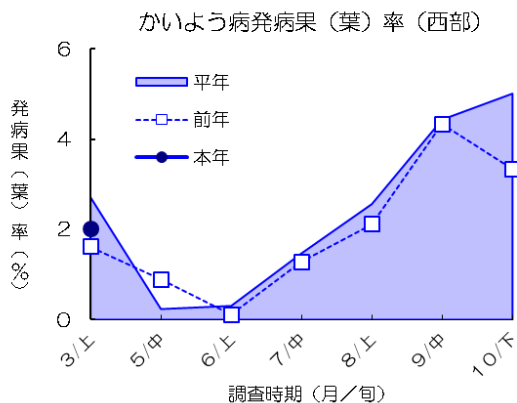
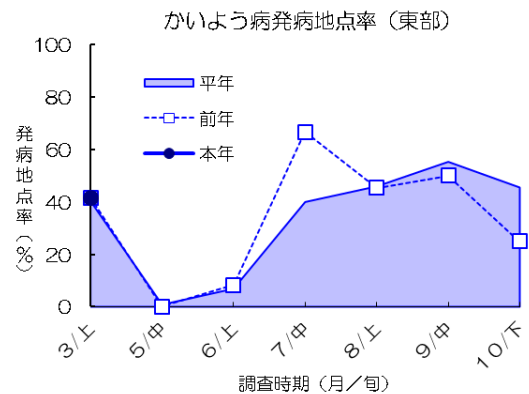
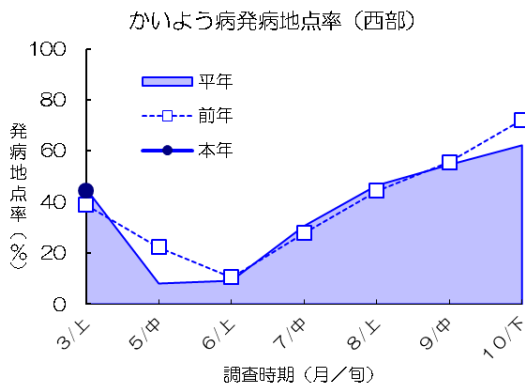
◆巡回調査では、西部が平年並、東部でも平年並の発生であった。

◆向こう1か月の降水量予報は、少ない及び多いが30%、平年並40%と予想されている(±)。


◆銅剤散布にあたっての注意事項

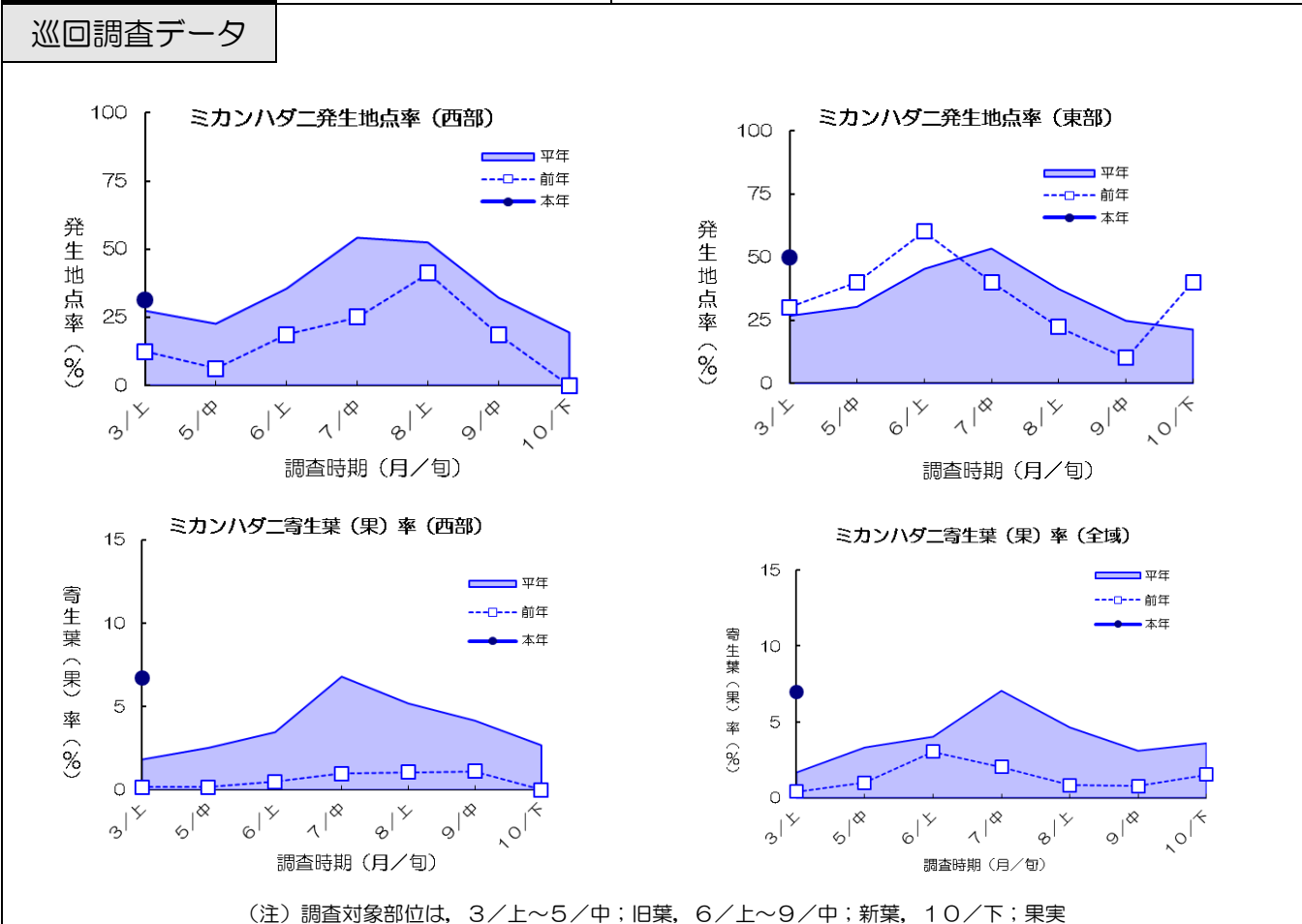
- ・前作の着果過多等により樹勢が著しく低下している場合は、散布を控える。
- ・高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あける。
- ・マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用せず、これらの剤との散布間隔は7日以上あける。
- ・無機銅剤（コサイド剤など）の散布を行う際、クレフノン（希釈倍数：200倍）を加用する。

巡回調査データ



(注) 調査対象部位は、3/上；旧葉、5/中～7/中；新葉、8/上～；果実

<h2 style="margin: 0;">ミカンハダニ</h2> 	現況 (平年比)	予報の根拠 (＋): 多発要因, (±): 平年並, (－): 少発要因 ◆巡回調査では、西部では発生が多く、東部でも発生が多であった。 ◆向こう1か月の気温予報は、高い80%、平年並み及び低い10% (＋)、降水量予報は、少ない及び多いが30%、平年並40%と予想されている (±)。
	多	
	予報 (平年比)	
	多	



【発生量について】
 「予報」「現況」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分の方法は、原則として、過去10年間の同時期の調査結果の数値を、発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

「多」 : 1番目 (最多年) と同程度以上
 「やや多」 : 2～3番目と同程度
 「並」 : 4～7番目と同程度
 「やや少」 : 8～9番目と同程度
 「少」 : 10番目 (最少年) と同程度以下

2 果樹全般 - カメムシの越冬量が過去 10 年で最多 -

チャバネアオカメムシの越冬量調査では、捕獲地点率が 44.4%，1 か所あたり虫数は 0.9 頭となり、過去 10 年と比較して最も多い結果となりました。

越冬量が多いと 4 月～7 月の発生が多くなるので注意が必要です。

4 月以降のフェロモントラップの誘殺状況を広島県ホームページで公開しますので、参考にしてください。春からのカメムシの発生に注意し、適切に防除を行ってください。

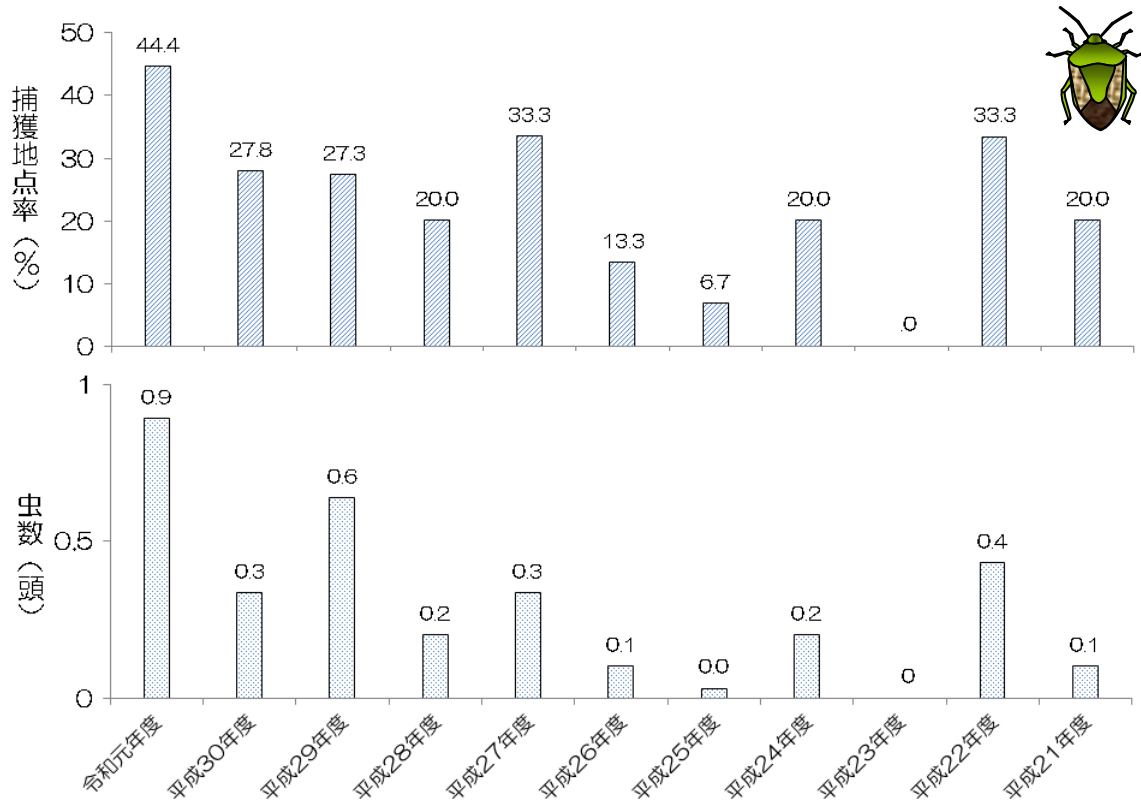


図 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果（上：捕獲地点率，下：1 か所あたり平均虫数）

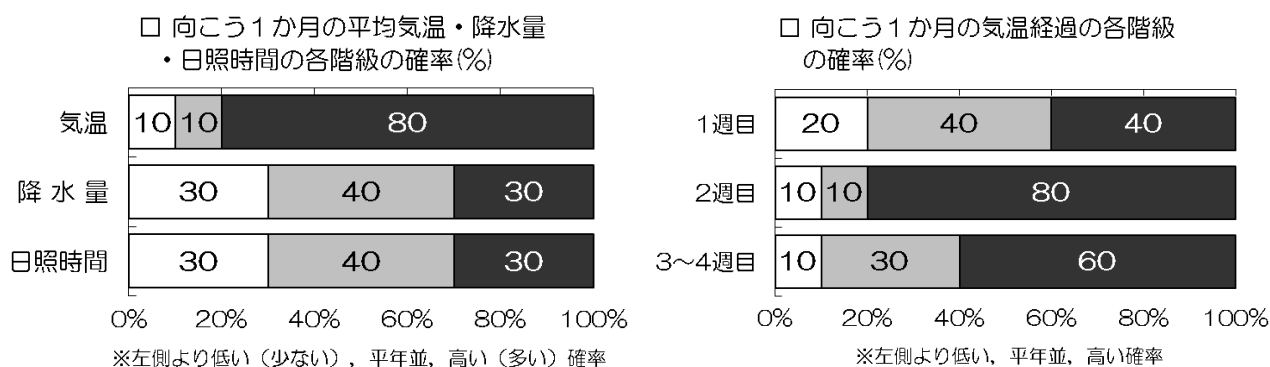
3 気象情報

中国地方 1 か月予報

(広島地方気象台 3 月 12 日発表, 3 月 12 日から 4 月 13 日までの天候見通し)

天気は, 山陽では数日の周期で変わり, 平年と同様に晴れの日が多い見込です。向こう 1 か月の平均気温は, 高い確率 80% です。

週別の気温は, 1 週目は, 平年並及び高い確率ともに 40% です。2 週目は, 高い確率 80% です。3~4 週目は, 高い確率 60% です。



4 お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは, 広島県ホームページで閲覧できます。



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
 〒739-0151 東広島市八本松町原6869
 電話：082-420-9662 (直通)